

小学生による森林保全作業

7月14日（木）、鶴岡市立あさひ小学校5学年生31名と、教頭先生ほか3名による朝日山地森林生態系保護地域内（保全利用地区）での広葉樹の更新を促すための森林保全作業を実施しました。

最初に林地を覆っている大量の下草（ススキ等）を、手鎌を使って刈り払い、次に、剪定バサミで、樹木に絡まっているツルを切ってもらいました。

林地の整備が終わったところで、周辺に生育していたミズナラ、トチノキ、オニグルミの稚樹を丁寧に掘り取り、整備後の林地に植え付けました。



自分の身長より高い下草を刈り払います



掘り取ったミズナラの苗を丁寧に植え付けました

終始降雨の中での作業でしたが、児童さん達は元気に作業を継続。「だんだん面白くなってきた!」、「次の作業は何をされるのですか?」等、積極的な声が現場に響きました。

今回、山形大学農学部、菊池准教授がご参加され、児童さんに適切なアドバイスや、作業の意義等についてお話いただ

きました。とても参考になる内容に、児童さん達は真剣に話を聞いていました。

この森林保全作業は、今後3年間継続し、毎年度実施する林床植生調査に反映していきます。



雨の中がんばりましたね。おつかれさまでした。